

# 決算発表本格化の米ハイテク株の先行きは？

シニア・ストラテジスト 石黒英之



## ポイント① 米ハイテク株に下げ止まりの兆しも

今週は米大手ハイテク企業の決算発表が本格化します。26日にアルファベット、マイクロソフト、27日にメタ・プラットフォームズ、28日にアップル、アマゾン・ドット・コムが決算発表を予定しています。これらの企業は米国株に占める時価総額比率が大きいだけに市場の関心も高く、今後の米国株の先行きをみる上で、重要イベントといえそうです。

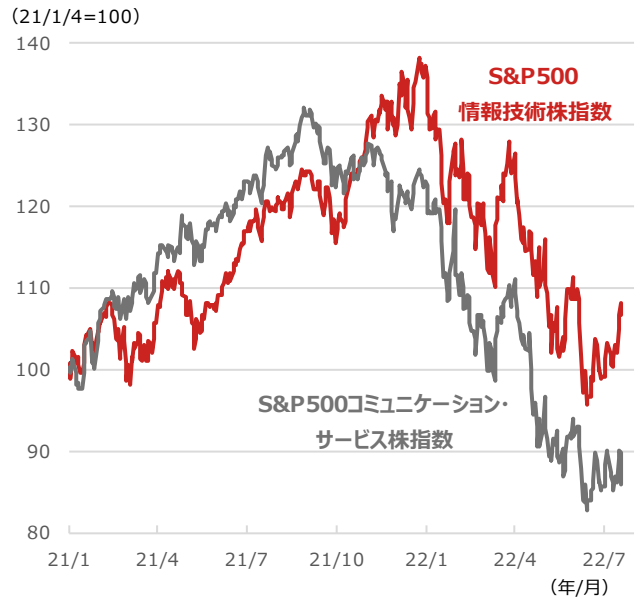
7月22日時点の米ハイテク業種の年初来株価下落率は、S&P500情報技術株指数が21.4%、同コミュニケーション・サービス株指数が29.8%となっていますが、足元の株価は下げ止まりの動きも見られ始めています（右上図）。米長期金利上昇によるバリュエーション調整や業績失速などを織り込みつつあるといえ、株価の下値リスクが徐々に和らぎ始めた可能性があります。

## ポイント② 今後は業績拡大基調に回帰する公算

実際、足元で米長期金利の上昇は一服しており、同金利上昇によるバリュエーション調整圧力は一巡しつつあると考えられます。また、米ハイテク業種のEPS（1株当たり利益）前年同期比増減率をみると、2022年4-6月期～7-9月期がボトムになるとみられており、10-12月期以降は再び業績拡大基調に回帰するとみられています（右下図）。

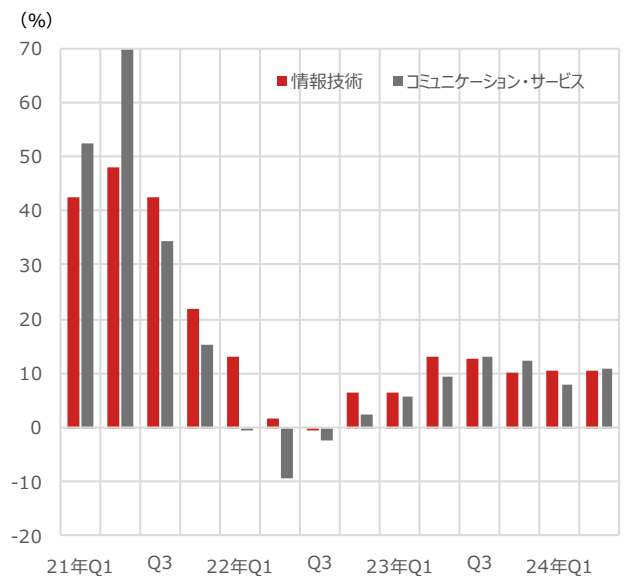
ここにきて世界的な消費不況のリスクが高まりつつあることから、デジタル広告市場などの成長を警戒する向きもあります。ただ、メタバースなど新たな市場分野の拡大も見込まれており、ハイテク業種を取り巻く環境は悲観一色ではありません。今後の業績拡大を見越し、米ハイテク株に見直し買いが入り始めると、米国株全体のムードも好転することが見込まれます。

## S&P500情報技術株とコミュニケーション・サービス株指数



期間：2021年1月4日～2022年7月22日、日次  
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

## S&P500のハイテク業種のEPS前年同期比増減率



期間：2021年Q1（1-3月期）～2024年Q2（4-6月期）、四半期  
・2022年Q2以降は7月22日時点のBloomberg予想  
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

個別銘柄の記載は、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

\*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。